

新潟平野地下の沖積層の地質と層序に関する 文献目録(暫定版)

矢部 英生*

Bibliography of the Alluvial geology and stratigraphy of the Niigata Plain (Preliminary version)

by

Hideo YABE

新潟平野は、越後山脈・魚沼丘陵・弥彦山地・東頸城丘陵などによって境され、信濃川水系と阿賀野川水系の下流部に発達する海岸平野である。新潟平野の地下には、100mを越える厚さの沖積層が広がっていることが知られている(新潟県地質図改訂委員会編, 2000)。それらは、MINATO *et al.* (1967)によって白根層と命名され、その後、新潟東港地区における沖積層は東新潟層(西田, 1969)、西蒲原郡黒崎町を模式地とする沖積層の最上部層は黒鳥層と命名された(青木・仲川, 1980)。

新潟平野の地下に広がる沖積層の地質や層序については、水溶性天然ガスの開発にともなって1950年代以降に本格的な研究がはじめられた(伊田, 1955; 牧山, 1963; 福田ほか, 1966)。ところが、1950年代後半になると、新潟平野では地盤沈下が深刻な問題となり、その対策として沖積層に関する研究が進められた(第一港湾建設局ほか編, 1963; 北陸農政局新潟地盤沈下調査事務所編, 1965; 柴崎・和田, 1968; 和田, 1972a; 西田, 1973; 青木, 1977; 北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所編, 1996)。さらに、1960年代になると、新潟地震による被害の復興、都市開発計画、上越新幹線・自動車道路などの大規模な工事のさいに沖積層に関する多数のボーリング資料が蓄積されていった(建設省計画局・新潟県編, 1967; 新潟県商工労働部企画振興課編, 1970; 日本鉄道建設公団, 1972; (社)新潟県建築士会・(社)日本建築学会北陸支部編, 1974; 日本物理探鉱株式会社編, 1980; 北陸地方建設局北陸技術事務所編, 1981; 安藤, 1994)。

一方、1960年代後半以降には、新潟第四紀団体研究グループ・新潟花粉研究グループ・新潟珪藻研究グループ・新潟古砂丘研究グループ等が発足され、沖積層の層序や古環境の変遷について詳細な研究がおこなわれた。これらのグループによる研究の成果は、シンポジウム「海岸平野」・地学団体研究会専報「日本の第四系」・新潟大学理学部地質鉱物学教室研究報告「西田彰一教授退官記念論文集」・アーバンクボタ特集「信濃川と海岸平野」や、「日本海」・「第四紀」といった研究連絡誌などに公表された(新潟第四紀グループ, 1965; 1972; 新潟古砂丘グループ, 1967; 1972; 1974; 1975; 1978; 1979; 新潟第四紀団体研究グループ, 1969; 1972; 新潟珪藻グループ, 1969; 1970; 1979; 新潟花粉グループ, 1970; 新潟古砂丘グループ・畑山祐二, 1970; 新潟花粉研究グループ, 1972; 新潟珪藻研究グループ, 1972; 1976; 新潟古砂丘研究グループ, 1976; 田中久夫・新潟古砂丘グループ, 1995)。また、MINATO *et al.* (1967)や長谷川ほか(1967)などは、新潟平野の第四系に挟在される礫層の

*新潟大学積雪地域災害研究センター

分布に着目した。その結果、平野の地下には、氷期における海水準の低下によって形成された埋没段丘の地形が発達していることが明らかになった。

1995年、日本第四紀学会大会にて、シンポジウム「平野の自然と人類史—越後平野を例として—」が開催された。このシンポジウムは、地質学のみならず、考古学・河川開発・地盤災害などの分野からの総合的な内容となった(青木, 1995; 1996; 小林, 1995a; 1996; 小熊, 1995; 1996; 百武, 1995; 1996; 田中, 1995; 山本, 1995; 1996; 柴崎ほか, 1996; 田中ほか, 1996)。

さらに、1955年度には新潟県が中心となって新潟平野の沖積層を含む県下の地質図幅が作成され、これまで4回の改訂がおこなわれた。とくに、2000年度版の地質図幅では、新潟平野の沖積層についての詳細な地質断面図が作成された(新潟県地質図改訂委員会編, 2000)。現在は、これまでの研究成果をふまえて新潟平野の沖積層の地質や層序について見直しが進められ、より精度の高い研究が進められているといえる。

筆者は、新潟平野の地下に広がる沖積層の地質や層序に関する文献を調査し、その目録を作成した。しかし、関連する文献は膨大な数にのぼるため、ここに掲げた目録は必ずしも網羅的なものではないと思われる。今後も継続して文献の調査をおこない、この目録を充実させていきたい。

謝 辞

本目録を作成するにあたって、新潟大学積雪地域災害研究センターの高浜信行博士、卜部厚志博士、鈴木幸治技官、新潟大学自然科学研究科の鴨井幸彦氏、安井 賢氏、新潟大学理学部的小林巖雄教授、川崎容子司書、新潟大学教育人間科学部の鈴木郁夫教授、農林水産省北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所の長谷川元二氏のお世話になった。ご芳名を記し、深謝の意を表する。

赤桐毅一 (1993) : 日本の湖沼の最近約百年間の変化, 地質学論集, No. 39, 137-158.

阿久津 純 (1966) : 新潟平野の沖積層について, 宇都宮大学教育学部紀要, 第2部, No. 16, 62-68.

安藤 廉 (1987) : 白根層中部粘性土層の圧密特性について, 新潟応用地質研究会誌, No. 29, 6-11.

安藤 廉 (1994) : 新潟平野の地盤地質について(最近の地盤調査からの知見), 新潟応用地質研究会誌, No. 42, 27-39.

AOKI, S. (1976) : Land subsidence in Niigata, *Proceedings of the Anaheim Symposium (International Association of Hydrological Sciences)*, No. 121, 105-112.

青木 滋 (1977) : 新潟平野の地盤沈下, 土と基礎, Vol. 25, No. 6, 21-28.

青木 滋 (1978) : 新潟平野の地盤構成, 地下水利用と地盤沈下について, 沿海低地帯の地盤沈下の実体と災害の解明(代表: 松沢 勲), 文部省・自然災害特別研究, 45-51.

青木 滋 (1979) : 新潟平野の地盤沈下, アーバンクボタ(仮)アーバンクボタ編集室編, 株式会社クボタ, 36-40.

青木 滋 (1982a) : 新潟ゼロメートル地帯の地盤構成と被害, ゼロメートル地帯の被災と災害対策の研究(代表: 松沢 薫), 文部省科学研究費・自然災害特別研究成果・自然災害科学総合研究班, 1-22.

青木 滋 (1982b) : 新潟平野の“地盤のパルス”について(予報), 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報, No. 4, 87-98.

青木 滋 (1985) : 新潟の山と平野—変動する大地—, 新潟大学放送公開講座「にいがた—自然と環境—」, 新潟大学放送公開講座実施委員会, 37-48.

- 青木 滋 (1986) : 新潟平野の“地盤の Puls”について, 昭和61年度自然災害科学中部地区シンポジウム講演概要集, 自然災害科学総合研究班中部地区部会, 27.
- 青木 滋 (1992) : 新潟平野の地盤と環境問題, 日本化学会64年秋季年会講演予稿集, 社団法人日本化学会, 403.
- 青木 滋 (1995) : 平野の自然・生活, 日本第四紀学会講演要旨集, No. 25, 37.
- 青木 滋 (1996) : 越後平野の地盤環境, 第四紀研究, Vol. 35, No. 3, 259-270.
- 青木 滋 (1998) : 新潟県の地震と地盤—とくに平野について, 新潟は安全か?—地震(茅原一也監修), 新潟日報事業社, 143-172.
- 青木 滋・茅原一也 (1978) : 新潟平野の地盤地質と地盤災害, 昭和53年度自然災害科学中部地区シンポジウム講演概要集, 自然災害科学総合研究班中部地区部会, 61-62.
- 青木 滋・藤田至則 (1981) : ボーリング資料からみた新潟平野の地下地質と地盤災害, 自然災害科学資料解析研究, Vol. 8, 46-53.
- 青木 滋・藤田至則 (1982) : 応用地質, 日本地質学会第89年学術大会巡検案内書—新潟の地質—, 日本地質学会第89年学術大会準備委員会, 187-209.
- 青木 滋・上條賢一 (1978) : 新潟市南方黒崎地区の水溶性天然ガス附随水の地下還元実験と地盤沈下について, 新潟大学理学部地盤災害研究施設研究年報, No. 4, 67-79.
- 青木 滋・上條賢一 (1998) : 新潟平野の地盤沈下の現況について, 日本地質学会第105年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 264.
- 青木 滋・仲川隆夫 (1978) : 新潟平野における晩期第四系の層序, 層相からみた古地理変遷, 日本地理学会予稿集, No. 15, 2-3.
- 青木 滋・仲川隆夫 (1980) : 新潟平野の地盤地質について, 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報, No. 2, 25-40.
- 青木 滋・仲川隆夫 (1984) : 新潟平野の軟弱地盤, 月刊地球, Vol. 6, No. 11, 668-671.
- 青木 滋・小川正二・鴨井幸彦 (1999) : 1964年新潟地震における液状化地盤の特徴について, 第18回日本自然災害学会学術講演会講演概要集, 日本自然災害学会, 23-24.
- 青木 滋・小川正二・大川秀雄 (1995) : 福島潟周辺の地盤構造と震害分布について, 月刊地球, Vol. 17, No. 12, 743-747.
- 青木 滋・小川正二・豊田 勝 (1993) : 新潟市周辺の地盤沈下の対策と問題点, 平成5年度自然災害科学中部地区シンポジウム講演概要集, 自然災害科学総合研究班中部地区部会, 38-39.
- 青木 滋・豊田 勝 (1980) : 新潟平野における最近の地盤沈下に関する諸問題, 第17回自然災害科学総合シンポジウム講演論文集, 文部省科学研究費自然災害特別研究自然災害科学総合研究班, 413-414.
- 荒巻 孚 (1969) : 新潟北部海岸における飛砂—砂丘生成の営力に関する研究—, 地理学評論, Vol. 42, No. 3, 170-175.
- 栗田泰夫・小松原 琢 (1999) : 月岡断層帯の浅部断層形態にもとづく単位変位量の再検討, 地質調査所速報, No. EQ/99/3(平成10年度活断層・古地震研究調査概要報告書), 37-45.
- 地学団体研究会新潟支部 (1997a) : 信濃川がつくった日本一の平野と砂丘—新潟砂丘—, 大地のロマンを求めて—新版新潟地学ハイキング(地学団体研究会新潟支部編), 新潟日報事業社, 25-36.
- 地学団体研究会新潟支部 (1997b) : 岩船潟の跡をたずねて, 大地のロマンを求めて—新版新潟地学ハイキング(地学団体研究会新潟支部編), 新潟日報事業社, 69-75.
- 地学団体研究会高田支部 (1978a) : 日本一の信濃川がつくった平野と砂丘—新潟平野—, 新潟地学ハイキング(地学団体研究会高田支部編), 新潟日報事業社, 19-27.
- 地学団体研究会高田支部 (1978b) : 岩船潟をたずねて, 新潟地学ハイキング(地学団体研究会高田支部編), 新潟日報事業社, 57-63.

- 茅原一也 (1968) : 最近における新潟県下の自然災害とその地質的背景, 新潟の自然第1集(歌代 勳編), 新潟の自然刊行委員会, 287-300.
- 茅原一也 (1979) : 地震とその災害, アーバンクボタ(祐アーバンクボタ編集室編), 株式会社クボタ, 29-36.
- 茅原一也・青木 滋 (1998) : 新潟県の地盤, 地質と調査, No. 78, 36-46.
- 地質学論集第7号編集委員会 (1972) : 日本の海岸平野に関する文献集, 地質学論集, No.7(別冊), 1-91.
- 第一港湾建設局・新潟県・新潟市編 (1963) : 新潟平野の地盤沈下, 第一港湾建設局・新潟県・新潟市, 331.
- 遠藤邦彦 (1969) : 日本における沖積世の砂丘の形成について, 地理学評論, Vol.42, No.3, 159-163.
- 藤田 剛・長谷川康雄・木村 広・小菅明男・松木 保・西片 武・渡辺 勇 (1970) : 新潟平野沖積層の化石珪藻, 地質学雑誌, Vol.76, No.2, 86.
- 藤田 剛・長谷川康雄・渡辺 勇・松木 保・木村 広・斎藤弘治 (1968) : 新潟平野における沖積層の珪藻群集について, 地質学雑誌, Vol.74, No.2, 125.
- 藤田至則 (1979) : 新潟堆積盆地とその背景, アーバンクボタ(祐アーバンクボタ編集室編), 株式会社クボタ, 41-43.
- 藤田至則 (1980) : 新潟地方の平野と盆地の発生—鳥弧変動からみた高地災害に関する基礎研究—, 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報, No.2, 1-8.
- 藤田至則 (1984a) : 山地・丘陵部の縁辺に発達する断層～撓曲の発生に関する研究, 山地・丘陵部の縁辺に発達する断層～撓曲の発生に関する研究(代表: 藤田至則), 昭和58年度科学研究費補助金一般研究(B)研究成果報告書, 1-16.
- 藤田至則 (1984b) : 新潟平野北西部の平野の発生—角田山の山麓部の地質構造, 山地・丘陵部の縁辺に発達する断層～撓曲の発生に関する研究(代表: 藤田至則), 昭和58年度科学研究費補助金一般研究(B)研究成果報告書, 17-23.
- 藤田至則・高浜信行・鈴木尉元 (1987) : 浮上する日本列島—鳥弧変動—, 新潟大学放送公開講座「変動する地球—日本列島の成り立ちとその背景—」, 新潟大学放送公開講座実施委員会, 183-200.
- 福部 堯・安藤 廉 (1986) : 新潟県庁舎の地盤と耐震対策, 新潟応用地質研究会誌, No.28, 43-65.
- 福田 理・阿久津 純・徳永重元 (1966) : 新潟深層試験井の坑井地質, 地質調査所特別報告, No.3, 76-83.
- 五島智彦・高野武男・新田義信・仙田幸造・山田武雄・佐藤勢次・山崎興輔 (1970) : 新潟平野沖積層の花化石について(新潟県の第四系, その2), 地質学雑誌, Vol.76, No.2, 82.
- 長谷川和夫・湊 正雄・大矢 暁・柴崎達雄・陶山国男・高橋雄一郎・和田温之 (1967) : 新潟平野における晩期第四系の年齢, 第四紀研究, Vol.6, No.2, 79-84.
- 長谷川 正・小林忠夫 (1969) : 新潟県下の砂丘と平野の形成について, 日本地質学会第76年学術大会シンポジウム「海岸平野」, シンポジウム「海岸平野」世話人会, 223-227.
- HASEGAWA, Y. (1976) : Significance of diatom thanatocoenoses in the neolithic sea-level change problem (2), *Pacific Geology*, No.11, 1-32.
- 長谷川康雄・藤田 剛 (1969) : 化石珪藻よりみた海岸平野の海成沖積層, 日本地質学会第76年学術大会シンポジウム「海岸平野」, シンポジウム「海岸平野」世話人会, 97-108.
- 北陸地方建設局北陸技術事務所編 (1981) : 新潟県平野部の地盤図集(新潟平野編)-[1]解説およびボーリング台帳, [2]ボーリング位置図, [3]地形分類図およびN値等深線図・地質断面図, [4の1]ボーリング柱状図(A~J), [4の2]ボーリング柱状図(K~L), [4の3]ボーリング柱状図(M~P), [4の4]ボーリング柱状図(Q~Z), [4の5]ボーリング柱状図(A1~J1), 財団法人北陸建設弘済会.
- 北陸農政局新潟地盤沈下調査事務所編 (1965) : 農地の地盤沈下, 北陸農政局新潟地盤沈下調査事務所, 485.

- 北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所編 (1996)：新潟平野の地盤沈下，北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所，250。 ※数年毎に改訂されている
- 伊田一善 (1955)：新潟ガス田の地質，地質調査所月報，Vol. 6, No. 6, 327-342.
- 五十嵐八枝子 (1997)：新潟平野北部・五頭山麓の完新世花粉層序—考古・歴史時代の古植性変遷と五頭土石流発生の関連—，地表変動と遺跡の成立・破壊の関連の研究(代表：高浜信行)，文部省科学研究費基盤研究(B)研究成果報告書，14-29.
- 池辺 稔・石和田靖章・河井興三・山田陽一・加藤正和 (1968)：新潟平野の地下地質，石油技術協会誌，Vol. 33, No. 3, 198-208.
- 稲崎富士・粟田泰夫・加野直巳 (1998)：鳥越断層群の高分解能S波反射法探査，地質調査所速報，No. EQ/98/1(平成9年度活断層・古地震研究調査概要報告書)，11-17.
- 稲崎富士・加野直巳 (1999)：高分解能S波反射法及びサイスマックコーン貫入試験による角田・弥彦断層群の浅部構造調査，地質調査所速報，No. EQ/99/3(平成10年度活断層・古地震研究調査概要報告書)，59-68.
- 稲崎富士・加野直巳・倉本真一 (1999)：表層地盤構造の再現性—高分解能S波反射法探査と地中レーダ探査の比較—，地質ニュース，No. 537, 37-43.
- 井上春雄 (1958)：新潟海岸の波蝕，信州大学教育学部研究論集，No. 9, 199-210.
- 石和田靖章 (1964)：蒲原層序試錐について，地質ニュース，No. 115, 1-9.
- 岩永 伸・石橋輝樹 (1975)：新潟平野中央部における第四紀層と地下水について，日本地質学会第82年学術大会講演要旨，日本地質学会，355.
- IWANAGA, S. and ISHIBASHI, T. (1977)：Aquifer and buried terrace in the central part of the Niigata Plain, *Engineering Geology*, Vol. 18, No. 3, 117-124.
- 貝塚爽平 (1977)：越後平野と十勝平野，日本の地形—特質と由来—，岩波書店，211-217.
- 鴨井幸彦・河内一男 (1988)：新潟県における“Lost sand dune”，日本第四紀学会講演要旨集，No. 18, 90-91.
- 鴨井幸彦・小林巖雄・NGUYEN L. V.・藤田英忠・坂井陽一 (1995)：新潟平野北部地域の表層地質と古環境，日本第四紀学会講演要旨集，No. 25, 140-141.
- 鴨井幸彦・小林巖雄・坂井陽一・藤田英忠・斎藤道春・木村澄枝 (1990)：新潟平野北東部地下の上部更新統・完新統と泥炭層の¹⁴C年代，日本第四紀学会講演要旨集，No. 20, 68-69.
- 鴨井幸彦・小林巖雄・安井 賢 (2000)：越後平野沖積層における泥炭層の層位分布，日本地質学会第107年学術大会講演要旨，日本地質学会，203.
- 鴨井幸彦・新潟応用地質研究会軟弱地盤研究グループ (2000)：越後平野と高田平野における沖積層基底等高線図—最終水期の谷地形—，第35回地盤工学研究発表会発表講演集，社団法人地盤工学会，397-398.
- 鴨井幸彦・安井 賢・小林巖雄 (1999)：越後平野の堆積相と沈降運動，第53回総会(長野)シンポジウム・ポスター要旨集，地学団体研究会，79-80.
- 鴨井幸彦・安井 賢・小林巖雄・立石雅昭・大谷政敬・伊豫田成子・針生真也・田中里志 (1998)：越後平野中央部，白根地域の“沖積層”の層序と年代，日本地質学会第105年学術大会講演要旨，日本地質学会，33.
- 鴨井幸彦・安井 賢・小林巖雄・渡辺秀男 (2000)：越後平野北部，古塩津(古紫雲寺)潟における表層地質，日本第四紀学会講演要旨集，No. 30, 10-11.
- 加野直巳・山口和雄・粟田泰夫 (1999)：角田・弥彦断層群のP波反射法地震探査，地質調査所速報，No. EQ/99/3(平成10年度活断層・古地震研究調査概要報告書)，47-58.
- 加藤 進・渡辺其久男 (1984)：北蒲原平野下に発達する“Breccia”について，石油技術協会誌，Vol. 49, No. 3, 25-35.

- 活断層研究会編 (1991)：[新編]日本の活断層—分布図と資料，東京大学出版会，437.
- 河内一男 (1991)：新潟県北部における水準点変動—新潟地震前後の地殻変動の特徴について—，新潟県地学教育研究会誌，No. 25，87-98.
- 梶根 勇 (1985)：越後平野の1,000年，新潟日報事業社，223.
- 建設省計画局・新潟県編 (1967)：新潟地区の地盤，都市地盤調査報告書，Vol. 16，1-150.
- 木村 広・渡辺 勇・松木 保・長谷川康雄・藤田 剛・斎藤弘治・高野武男・新田義信・山田武雄・仙田 幸造・五島智彦・佐藤勢次・山崎興輔 (1969)：新潟平野における沖積層の花粉化石と化石珪藻群集について，地質学雑誌，Vol. 75，No. 1，101.
- 小林巖雄 (1984)：新潟県下の鮮新統—更新統の境界問題について—最近の3年間の成果を中心に—，新潟平野(新潟第四紀グループ連絡誌)，No. 30，41-52.
- 小林巖雄 (1989)：新潟平野地下の更新統—その1層序・年代に関する問題，日本第四紀学会講演要旨集，No. 19，100-101.
- 小林巖雄 (1991)：地質，新潟市史—資料編12—自然(新潟市史編さん自然部会編)，新潟市，32-79.
- 小林巖雄 (1994a)：越後平野地下の第四系，日本第四紀学会講演要旨集，No. 24，164-165.
- 小林巖雄 (1994b)：地下の地質，黒埼町史—資料編5—自然(黒埼町史編さん自然部会編)，黒埼町，36-74.
- 小林巖雄 (1994c)：大地の歴史，黒埼町史—資料編5—自然(黒埼町史編さん自然部会編)，黒埼町，76-85.
- 小林巖雄 (1995a)：越後平野地下の第四系，日本第四紀学会講演要旨集，No. 25，14-17.
- 小林巖雄 (1995b)：新潟県笹神周辺の地下地質，月刊地球，Vol. 17，No. 12，735-742.
- 小林巖雄 (1996)：越後平野地下の第四系，第四紀研究，Vol. 35，No. 3，191-205.
- 小林巖雄 (1997)：越後平野における第四系の地質学的特性に関する研究，平成7年度～平成8年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書(代表：小林巖雄)，50.
- 小林巖雄 (2000)：新潟地域の新生界層序と古日本海，石油技術協会誌，Vol. 65，No. 4，305-313.
- 小林巖雄・青木 滋・渡辺其久男・藤田 剛・新戸部 隆・石橋輝樹・平井明夫・福山恵美子・大森昌衛 (1976)：新潟市緑ヶ丘，地盤沈下観測井(坂井輪井K-1)の地質について，新潟大学理学部地盤災害研究施設研究年報，No. 2，37-54.
- 小林巖雄・鴨井幸彦・安井 賢・立石雅昭・田中里志・見方 功 (2000)：越後平野の沖積層：層序の再検討と堆積環境の解析，日本地質学会第107年学術大会講演要旨，日本地質学会，338.
- 小林巖雄・松田俊司 (1990)：新潟平野地下の中・上部更新統産軟体動物群，日本第四紀学会講演要旨集，No. 20，70-71.
- 小林巖雄・松田俊司 (1991)：新潟平野地下の第四系—その1，新潟市地下の更新統産軟体動物化石群，中川久夫教授退官記念地質学論文集，中川久夫教授退官記念事業会，119-124.
- 小林巖雄・大森昌衛・石橋輝樹・青木 滋 (1975)：新潟市緑ヶ丘(坂井輪井K-1)地下の沖積層から産出した貝化石群について，新潟県地学教育研究会誌，No. 9，65-71.
- 小林巖雄・立石雅昭 (1997)：越後平野下の第四紀層，地学団体研究会第51回総会シンポジウム要旨集，地学団体研究会，104-107.
- 小林巖雄・渡辺其久夫 (1984)：新潟平野地下の鮮新—更新統に関する時代・古環境の考察—新潟平野の形成史に関連して—，山地・丘陵部の縁辺に発達する断層～撓曲の発生に関する研究(代表：藤田至則)，昭和58年度科学研究費補助金—一般研究(B)研究成果報告書，61-72.
- 小林達雄 (1979)：信濃川・阿賀野川流域の先史文化，アーバンクボタ(4)(アーバンクボタ編集室編)，株式会社クボタ，16-21.
- 小熊博史 (1995)：越後平野における旧石器・縄文時代の遺跡の立地とその変遷，日本第四紀学会講演要旨集，No. 25，20-23.
- 小熊博史 (1996)：越後平野における旧石器・縄文時代の遺跡の立地とその変遷，第四紀研究，Vol. 35，

No. 3, 219-228.

- 小出 博 (1970) : 新潟平野の放水路, 日本の河川—自然史と社会史—, 東京大学出版会, 137-158.
- 小出 博 (1973a) : 新潟砂丘, 日本の国土—自然と開発—(上), 東京大学出版会, 222-224.
- 小出 博 (1973b) : 新潟平野, 日本の国土—自然と開発—(上), 東京大学出版会, 254-260.
- 小松原 琢 (1991) : 新潟平野北東縁部の活構造—変位速度からみた地殻変動の地域的特徴—, 東北地理, Vol. 43, No. 2, 73-97.
- 小松原 琢 (1995) : 新潟平野東縁・吉野屋断層の発達過程, 日本地質学会第102年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 121.
- 小松原 琢・大月義徳 (1994) : 新潟平野東縁・吉野屋断層の変位地形と平均変位速度, 日本地理学会予稿集, No. 46, 60-61.
- 小松原 琢・田中 保 (1994) : 新潟平野北東縁部の第四系と地殻変動, 地球科学, Vol. 48, No. 1, 31-50.
- 町田 貞・荒巻 孚 (1965) : 阿賀野川右岸地域の海岸砂丘と砂堆について, 東京教育大学地理学研究報告, No. 9, 227-243.
- 牧山鶴彦 (1963) : 新潟ガス田の層序および地質構造について, 石油学会誌, Vol. 6, No. 9, 684-687.
- 松木 保 (1969) : 阿賀野川河口付近の珪藻群集について—新潟平野沖積層解析の基礎資料—, 日本地質学会第76年学術大会シンポジウム「海岸平野」, シンポジウム「海岸平野」世話人会, 213-216.
- 松本俊幸・応用地質研究会 (1993) : 環境問題の裏にあるもの—新潟平野の地盤沈下を例にして—, 地学団体研究会第47回総会シンポジウム要旨集, 地学団体研究会, 87-90.
- 湊 正雄 (1966) : 日本列島の最後の陸橋, 地球科学, No. 85・86, 2-11.
- 湊 正雄 (1969) : 海岸平野の地質, 特に軟弱地盤, 日本地質学会第76年学術大会シンポジウム「海岸平野」, シンポジウム「海岸平野」世話人会, 63-68.
- 湊 正雄 (1976) : 埋没段丘について, 新潟大学理学部地質鉱物学教室研究報告, No. 4, 1-10.
- MINATO, M., SUYAMA, K., HASEGAWA, K., OYA, A., TAKAHASHI, Y., NAKAGAWA, K., WADA, N. and SHIBAZAKI, T. (1967) : Absolute age of subsurface late Quaternary deposits in the Niigata Lowland, *Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University, Series IV (Geology and mineralogy)*, Vol. 13, 401-406.
- 茂木昭夫 (1980) : 新潟東港における埋没樹の年代測定, 第四紀研究, Vol. 19, No. 1, 53-55.
- 百武松児 (1995) : 新潟市周辺の地盤沈下の経緯について, 日本第四紀学会講演要旨集, No. 25, 34-36.
- 百武松児 (1996) : 新潟市周辺における地盤沈下の経緯, 第四紀研究, Vol. 35, No. 3, 253-258.
- 百武松児・宮沢勝雄 (1976) : 新潟地盤沈下について, 新潟大学理学部地質鉱物学教室研究報告, No. 4, 349-356.
- 百武松児・和田温之・須田光治 (1969) : 地質見学案内書—新潟市及びその周辺の地盤沈下, 日本地質学会第76年学術大会(新潟)準備委員会, 38.
- 森田 朗 (1993) : 北蒲原郡中条町富岡の砂丘内の黒褐色帯の¹⁴C年代と軽石層の起源, 新潟県地学教育研究会誌, No. 27, 67-70.
- MORIWAKI, H. (1982) : Geomorphic development of Holocene coastal plains in Japan, *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University*, No. 17, 1-42.
- 長尾和之・吉田真純 (1998) : 新潟平野北部の砂丘背後低地における粘性土のサンプリング, 土と基礎, Vol. 46, No. 5, 34-36.
- 仲川隆夫 (1984a) : 地盤情報解析システムのための地層対比の一例—土質工学的性質による新潟平野の“沖積層”の細分から—, 情報地質, No. 9, 49-60.
- 仲川隆夫 (1984b) : 新潟平野における“沖積層”の土質工学的性質について, 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報, No. 6, 83-96.

- 仲川隆夫 (1985) : 新潟平野の上部更新統・完新統—とくに沈降現象との関係について—, 地質学雑誌, Vol. 91, No. 9, 619-635.
- 仲川隆夫 (1986) : 新潟平野の沈降現象について(その2)—定量的検討, 日本地質学会第93年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 111.
- 仲川隆夫 (1987a) : 新潟平野の形成史, 地質学雑誌, Vol. 93, No. 8, 575-586.
- 仲川隆夫 (1987b) : 日本海側平野の形成史について(まとめ), 日本地質学会第94年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 150.
- 仲川隆夫 (1988) : 新潟平野の地形発達史について, 日本地質学会第95年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 111.
- 仲川隆夫 (1989a) : 多変量解析による砂丘砂と非砂丘砂の区分—新潟砂丘砂を例に—, 情報地質, No. 14B, 59-66.
- 仲川隆夫 (1989b) : 多変量解析による砂丘砂と非砂丘砂の区分について—新潟砂丘砂を例に—, 日本地質学会第96年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 696.
- 仲川隆夫 (1990a) : 新潟平野の地形発達史について(その2), 日本地質学会第97年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 225.
- 仲川隆夫 (1990b) : 新潟平野の地形発達史—とくに新潟砂丘形成時以降について—, 日本地理学会予稿集, No. 37, 34-35.
- 仲川隆夫 (1990c) : 新潟県高田平野・柏崎平野の沖積層—新潟平野との比較—, 日本地理学会予稿集, No. 38, 158-159.
- 仲川隆夫 (1991) : 地形分類による新潟平野の液状化予測, 第1回環境地質学シンポジウム講演論文集, 日本地質学会環境地質研究委員会, 233-238.
- 仲川隆夫 (1992a) : 新潟平野の地形発達史について(その3), 日本地質学会第99年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 228.
- 仲川隆夫 (1992b) : 新潟市の液状化予測—地形分類と被害事例にもとづいた—, 第2回環境地質学シンポジウム講演論文集, 日本地質学会環境地質研究委員会, 233-238.
- 仲川隆夫 (1993a) : 新潟平野の地形発達史について(その4), 日本地質学会第100年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 315.
- 仲川隆夫 (1993b) : 新潟市における液状化と地震にともなう浸水地域の予測, 第3回環境地質学シンポジウム講演論文集, 日本地質学会環境地質研究委員会, 363-366.
- 仲川隆夫 (1994) : 新潟市の液状化と地震にともなう浸水地域の予測—地形分類・表層地質・被害事例にもとづいた—, 日本地質学会第101年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 272.
- 仲川隆夫 (1995a) : 新潟平野における海面上昇の影響予測—海没する地域について—, 日本地質学会第102年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 306.
- 仲川隆夫 (1995b) : 新潟平野の被害地震—新潟県北部地震および被害地震の発生間隔—, 第5回環境地質学シンポジウム講演論文集, 日本地質学会環境地質研究委員会, 379-384.
- 仲川隆夫 (1995c) : 新潟平野における海面上昇の影響—海没する地域の予測—, 第5回環境地質学シンポジウム講演論文集, 日本地質学会環境地質研究委員会, 403-408.
- 仲川隆夫 (1996a) : 新潟平野の形成史について(その2)—平野の形成要因に関して—, 日本地質学会第103年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 123.
- 仲川隆夫 (1996b) : 新潟県沿岸地域における更新世後期以降の地殻変動速度—とくに新潟平野とその周辺地域について—, 第6回環境地質学シンポジウム講演論文集, 日本地質学会環境地質研究委員会, 127-132.
- 仲川隆夫 (1996c) : 新潟平野における海面上昇の影響と適応—平野の地形発達史からみた海没地域への対策

- 案について一，第6回環境地質学シンポジウム講演論文集，日本地質学会環境地質研究委員会，197-202.
- 仲川隆夫 (1998)：新潟平野の地形発達におよぼす沈降現象の影響—とくに信濃川の流路に関して—，第8回環境地質学シンポジウム講演論文集，日本地質学会環境地質研究委員会，99-104.
- 仲川隆夫 (1999)：新潟砂丘の改変状況—1911年以降の高さと土地利用の変化について—，第9回環境地質学シンポジウム講演論文集，日本地質学会環境地質研究委員会，217-222.
- 中野尊正・武久義彦 (1960)：新潟の地盤沈下，地理学評論，Vol. 33, No. 1, 1-9.
- 成瀬 洋 (1985)：下流の平野と海岸の砂堆—新潟平野，日本の平野と海岸(貝塚爽平・成瀬 洋・太田陽子著)，岩波書店，56-63.
- NGUYEN V. L., KAMOI, Y. and KOBAYASHI, I. (1999)：Late Pleistocene and Holocene diatom flora of the Echigo Plain and Lake Kamo, central Japan, *Proceedings of the 14th International Diatom Symposium* (MAYAMA, S., IDEI, M. and KOIZUMI, I. eds.), Koeltz Scientific Books, Koenigstein, 551-563.
- NGUYEN V. L. and KOBAYASHI, I. (1996a)：Holocene diatom flora and sedimentary environment of the Echigo Plain, central Honshu, Japan -Part 1 The analysis of Fukushima-gata well core-, *Science Reports of Niigata University, Series E (Geology)*, No. 11, 13-33.
- NGUYEN V. L. and KOBAYASHI, I. (1996b)：Late Pleistocene and Holocene diatom flora of the Echigo Plain and Lake Kamo, central Honshu, Japan, *Abstracts, 14th International Diatom Symposium*, 123.
- 日本物理探鉱株式会社編 (1980)：上越新幹線(水上・新潟間)地質図，日本鉄道建設公団新潟新幹線建設局，260.
- 日本鉄道建設公団 (1972)：上越新幹線長岡～新潟間地質概要，新潟応用地質研究会誌，No. 19・20, 50-76.
- 新潟第四紀団体研究グループ (1969)：新潟県の第四系，地学団体研究会専報，No. 15, 127-160.
- 新潟第四紀団体研究グループ (1972)：新潟県の地史—とくに新潟県の第四紀について—，新潟の自然第2集(歌代 勤編)，新潟の自然刊行委員会，1-39.
- 新潟第四紀研究グループ (1972)：東京低地および新潟平野沖積層の生屑序区分と堆積環境，地質学論集，No. 7, 213-233.
- 新潟花粉グループ (1970)：花粉分析による新潟平野沖積層の屑序区分，第四紀(第四紀総合研究会連絡誌)，No. 15, 47-51.
- 新潟花粉研究グループ (1972)：新潟県の花化石，新潟の自然第2集(歌代 勤編)，新潟の自然刊行委員会，280-293.
- 新潟珪藻グループ (1969)：珪藻化石からみた新潟平野の沖積層について，研究連絡誌—日本海—(代表：粕野義夫)，No. 3, 49-52.
- 新潟珪藻グループ (1970)：新潟平野沖積層の化石珪藻群集，第四紀(第四紀総合研究会連絡誌)，No. 15, 40-42.
- 新潟珪藻グループ(1979)：平野の地下，アーバンクボタ(和アーバンクボタ編集室編)，株式会社クボタ，10-11.
- 新潟珪藻研究グループ (1972)：新潟県の珪藻遺骸群集，新潟の自然第2集(歌代 勤編)，新潟の自然刊行委員会，294-309.
- 新潟珪藻研究グループ (1976)：新潟平野沖積層の珪藻遺骸群集，新潟大学理学部地質鉱物学教室研究報告，No. 4, 35-42, 7pls.
- 新潟古砂丘グループ (1967)：日本海側の古砂丘について，第四紀研究，Vol. 6, No. 1, 19-28.
- 新潟古砂丘グループ (1972)：新潟県の古砂丘と赤い雪，新潟の自然第2集(歌代 勤編)，新潟の自然刊行委員会，260-269.

- 新潟古砂丘グループ (1974) : 新潟砂丘と人類遺跡—新潟砂丘の形成史 I—, 第四紀研究, Vol. 13, No. 2, 57-65, 3pls.
- 新潟古砂丘グループ (1975) : 新潟砂丘, 第四紀研究, Vol. 14, No. 4, 189-194.
- 新潟古砂丘グループ (1978) : 新潟砂丘砂—新潟砂丘の形成史 II—, 第四紀研究, Vol. 17, No. 1, 25-38.
- 新潟古砂丘グループ (1979) : 砂丘と平野, アーバンクボタ (有)アーバンクボタ編集室編, 株式会社クボタ, 12-15.
- 新潟古砂丘グループ (1993) : 新潟県下の砂丘と大津分水による海浜の変化, 地学団体研究会第47回総会シンポジウム要旨集, 地学団体研究会, 120.
- 新潟古砂丘研究グループ (1976) : 新潟県の砂丘—その形成史と問題点, 新潟大学理学部地質鉱物学教室研究報告, No. 4, 43-46.
- 新潟古砂丘グループ・畑山祐二 (1970) : 新潟砂丘の形成期について, 第四紀 (第四紀総合研究会連絡誌), No. 15, 43-46.
- 新潟県地質図改訂委員会編 (2000) : 新潟県地質図説明書 (2000年版), 新潟県商工労働部商工振興課, 200.
 ※昭和30年度, 昭和37年度, 昭和51年度, 平成元年度に出版された説明書および地質図の改訂版である
- 新潟県・新潟市編 (1961) : 新潟の地盤沈下, 新潟県・新潟市, 47.
- 新潟県商工労働部企画振興課編 (1970) : 新潟東港地区臨海工業地帯地盤調査総合報告書, 新潟県商工労働部企画振興課, 86.
- 西田彰一 (1969) : 新潟平野の形成過程とその問題点, 日本地質学会第76年学術大会シンポジウム「海岸平野」, シンポジウム「海岸平野」世話人会, 53-58.
- 西田彰一 (1973) : 新潟の地盤沈下, 土と基礎, Vol. 21, No. 10, 65-70.
- 西田彰一・茅原一也 (1956) : 弥彦・角田山塊の生い立ちと最近の地史, 新潟県文化財年報, No. 1, 1-44.
- 西田彰一・小宮利彦・高橋雄一郎・石橋輝樹 (1972) : 新潟平野における浅層の地質と土質—その1, 海岸附近について—, 新潟応用地質研究会誌, No. 18, 2-7.
- 西田彰一・山野井 徹 (1969) : 新潟ガス田G₁層の花粉分析結果について, 地質学雑誌, Vol. 75, No. 1, 101.
- 新田義信・高野武男・山田武雄・仙田幸造・五島智彦・佐藤勢次・山崎興輔 (1968) : 新潟平野白根地域の沖積層の花粉化石について, 地質学雑誌, Vol. 74, No. 2, 124-125.
- 小川正二・青木 滋 (1976) : N値よりみた新潟市の地盤構成, 第13回自然災害科学総合シンポジウム講演論文集, 文部省特別研究自然災害科学総合研究班, 13-14.
- 大平明夫 (1991) : 完新世における新潟平野北東部の古環境変遷, 日本地理学会予稿集, No. 39, 68-69.
- 大平明夫 (1992) : 完新世における新潟平野北東部の地形発達史, 地理学評論, Vol. 65A, No. 12, 867-888.
- 岡本郁栄 (1999) : 新潟平野の遺跡と立地—信濃川流域について—, 第53回総会 (長野) シンポジウム・ポスター要旨集, 地学団体研究会, 93-94.
- 小野塚正史 (1998) : 新潟平野西部における沖積層の広がりとその変遷, 新潟県地学教育研究会誌, No. 31, 57-66.
- 太田 勇 (1965) : 中条ガス田の開発史, 石油技術協会誌, Vol. 30, No. 5, 255-260.
- 応用地質研究会 (1994) : 公害・環境問題の背景—新潟地盤沈下問題を例にして—, 地球科学, Vol. 48, No. 3, 241-252.
- 阪口 豊 (1964) : 越後平野の古地理の問題によせて, 第四紀研究, Vol. 3, No. 5, 284-289.
- 坂井陽一 (1981) : 新潟砂丘における腐植層と砂丘砂の鉱物組成—新潟砂丘の形成について (その1)—, 新潟県立教育センター研究報告, No. 49, 91-96.
- 坂井陽一 (1982) : 新潟市佐潟周辺に分布する新潟砂丘砂—新潟砂丘の形成について (その2)—, 新潟県立教育センター研究報告, No. 54, 69-74.

- 坂井陽一 (1991) : 地形, 新潟市史—資料編12—自然(新潟市史編さん自然部会編), 新潟市, 2-31.
- SEED, H. B., ASCE, M., IDRISSE, I. M. and ASCE, A. M. (1967) : Analysis of soil liquefaction : Niigata Earthquake, *Journal of the Soil Mechanics and Foundations Division (Proceedings of the American Society of Civil Engineers)*, Vol. 93 No. SM3, 83-108.
- 柴崎達雄 (1971) : 地盤沈下—しのびよる災害—, 三省堂, 205.
- 柴崎達雄・小林巖雄・小野 昭・立石雅昭 (1996) : 平野の自然と人類史—越後平野を例にして—, 第四紀研究, Vol. 35, No. 3, 189-190.
- 柴崎達雄・和田温之 (1968) : 沖積層研究からみた新潟平野の変動, 地質学論集, No. 2, 57-61.
- 鈴木郁夫 (1989) : 越後平野の形成に関する若干の考え, 新潟県高等学校教育研究会理科部会理科研究集録, No. 28, 77-82.
- 鈴木郁夫 (1993) : 新潟砂丘, 続・新潟のすぐれた自然—地形・地質編—(新潟県環境保健部環境保全課編), 新潟県環境保健部環境保全課, 41-43.
- 鈴木正喜 (2000) : 新潟市および周辺部の沖積層における自然含水比と圧密諸量値の関係, 新潟応用地質研究会誌, No. 54, 19-26.
- (社)新潟県建築士会・(社)日本建築学会北陸支部編 (1974) : 新潟県建築地盤図集, (社)新潟県建築士会・(社)日本建築学会北陸支部, 404.
- 高浜信行 (1982) : 新潟平野周辺地域における最終氷期最盛期頃の河床下刻作用と地盤隆起運動, 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報, No. 4, 65-75.
- 高浜信行 (1984) : 新潟平野東方・五頭山地の隆起運動—鮮新世～現在の隆起速度の検討, 山地・丘陵部の縁辺に発達する断層～撓曲の発生に関する研究(代表: 藤田至則), 昭和58年度科学研究費補助金一般研究(B)研究成果報告書, 49-59.
- 高浜信行・荒木繁雄・大塚富男・卯田 強 (1997) : 五頭山麓の縄文時代～現在の土石流の変遷とその意義(予報), 地表変動と遺跡の成立・破壊の関連の研究(代表: 高浜信行), 文部省科学研究費基盤研究(B)研究成果報告書, 7-13.
- 高浜信行・卜部厚志・寺崎裕助 (2000) : 味方排水機場遺跡調査報告書, 味方村誌—通史編—(味方村誌編集委員会編), 味方村, 46-55.
- 高浜信行・卜部厚志・寺崎裕助・大塚富男・BRAHMANTYO, B.・江口友子・中山俊道・荒木繁雄・川上貞雄・田村浩司 (1998) : 新潟県における歴史地震の液状化跡—その1—, 新潟大学積雪地域災害研究センター研究年報, No. 20, 81-104.
- 高浜信行・渡辺文男・渡辺友秀・大塚富男・小野 昭・久保田喜裕・卯田 強 (1997) : 五頭山麓における液状化跡の発見とその意義(予報), 地表変動と遺跡の成立・破壊の関連の研究(代表: 高浜信行), 文部省科学研究費基盤研究(B)研究成果報告書, 39-44.
- 高浜信行・山下訓利 (1999) : 新潟県和島村における奈良・平安時代の沖積低地の古地形環境—八幡林・下ノ西・門新遺跡の立地環境—, 奈良盆地東縁部における古墳時代前後の地質・地形環境と土地利用の変遷(代表: 高浜信行), 文部省科学研究費萌芽的研究成果報告書, 23-30.
- 高野武男 (1998) : 新潟平野の地下に推定される活断層, 日本地理学会発表要旨集, No. 53, 78-79.
- 高野武男・新潟第四紀研究グループ (1978) : 新潟平野の形成過程と地形的特徴, 日本地理学会予稿集, No. 15, 4-5.
- 田中久夫 (1963) : 新潟市の海岸砂丘について, 新潟県地学教育研究会誌, No. 1, 18-26.
- 田中久夫 (1968) : 新潟県の砂丘—特に新潟砂丘を中心として—, 新潟の自然第1集(歌代 勤編), 新潟の自然刊行委員会, 275-286.
- 田中久夫・長谷川 正・木村澄枝・岡本郁栄・坂井陽一 (1996) : 新潟砂丘の形成史, 第四紀研究, Vol. 35, No. 3, 207-218.

- 田中久夫・長谷川 正・水品静雄・渡辺三男也 (1968)：新潟海岸砂丘の形成について，地質学雑誌，Vol. 74，No. 2，125.
- 田中久夫・新潟古砂丘グループ (1995)：新潟砂丘の形成史，日本第四紀学会講演要旨集，No. 25，18-19.
- 徳重英助 (1927a)：越後に於ける偽沈降現象と最近の海岸線移動(一)，地理学評論，Vol. 3，No. 9，844-862.
- 徳重英助 (1927b)：越後に於ける偽沈降現象と最近の海岸線移動(二)，地理学評論，Vol. 3，No. 10，931-950.
- 徳重英助 (1927c)：越後に於ける偽沈降現象と最近の海岸線移動(三)，地理学評論，Vol. 3，No. 11，1045-1066.
- 徳重英助 (1927d)：越後海岸に於ける偽沈降現象に就きて(摘要)，地質学雑誌，Vol. 34，No. 405，228-230.
- 徳重英助 (1928)：越後に於ける偽沈降現象と最近の海岸線移動(四)，地理学評論，Vol. 4，No. 1，46-75.
- 卯田 強・佐藤真弓 (1997)：巻町稲島の活断層露頭，地表変動と遺跡の成立・破壊の関連の研究(代表：高浜信行)，文部省科学研究費基盤研究(B)研究成果報告書，180-183.
- 植村 武 (1981)：後魚沼期の地殻運動，新潟平野(新潟第四紀グループ連絡誌)，No. 28，46-47.
- 海津正倫 (1989)：完新世における新潟平野の地形発達史，日本地理学会予稿集，No. 35，198-199.
- 海津正倫 (1992)：沖積層上部砂層の形成とその地域的特色，名古屋大学文学部研究論集，史学，No. 38，171-185.
- 海津正倫 (1994)：沖積低地の古環境学，古今書院，270.
- ト部厚志・高浜信行 (1998)：新潟県内の活断層と液状化跡，新潟の災害と防災—新潟大災害研創立20周年記念講演会資料一，新潟大学積雪地域災害研究センター，65-73.
- ト部厚志・高浜信行・寺崎裕助 (1999a)：新潟平野味方村の埋没遺跡と5000年テフラ，第53回総会(長野)シンポジウム・ポスター要旨集，地学団体研究会，95-96.
- ト部厚志・高浜信行・寺崎裕助 (1999b)：平野地下19mに埋没した5000年前の遺跡と火山灰層の発見，新潟応用地質研究会誌，No. 52，33-38.
- ト部厚志・高浜信行・塚野明美・渡辺秀男・東野外志男・信濃川ネオテクトニクス団体研究グループ (2000)：新潟地域における完新世の火山灰層序と対比，日本第四紀学会講演要旨集，No. 30，96-97.
- 歌代 勤・藤田 剛 (1983)：新潟県北部砂丘地域におけるBoring coreの珪藻遺骸群集，新潟大学教育学部紀要，Vol. 25，No. 1，19-36.
- 歌代 勤・高野武男・長谷川 正・長谷川康雄 (1979)：新潟平野の地形的特徴とその形成過程，アーバンクボタ(稲アーバンクボタ編集室編)，株式会社クボタ，22-29.
- 和田温之 (1972a)：新潟平野の形成過程，地質学論集，No. 7，77-89.
- 和田温之 (1972b)：新潟県の地盤沈下について，新潟の自然第2集(歌代 勤編)，新潟の自然刊行委員会，239-247.
- 和田温之・長谷川和夫・柴崎達雄・歌代 勤 (1968)：新潟平野における沖積層の収縮(その1)，地質学雑誌，Vol. 74，No. 2，129.
- 和田温之・柴崎達雄・鎌田 烈・歌代 勤 (1970)：新潟平野における沖積層の収縮(その3)，地質学雑誌，Vol. 76，No. 2，78-79.
- 和田温之・柴崎達雄・歌代 勤 (1969a)：新潟平野における沖積層の収縮(その2)，地質学雑誌，Vol. 75，No. 2，104.
- 和田温之・柴崎達雄・歌代 勤 (1969b)：地盤沈下研究からみた新潟平野における晩期第四系の諸問題，日本地質学会第76年学術大会シンポジウム「海岸平野」，シンポジウム「海岸平野」世話人会，207-212.
- 若林茂敬 (1994a)：地形のようす，黒埼町史—資料編5—自然(黒埼町史編さん自然部会編)，黒埼町，22-33.
- 若林茂敬 (1994b)：地盤の災害，黒埼町史—資料編5—自然(黒埼町史編さん自然部会編)，黒埼町，

102-116.

- 若林茂敬・風間ミツ (1991) : 災害, 新潟市史一資料編12—自然(新潟市史編さん自然部会編), 新潟市, 118-147.
- 渡部 俊・卜部厚志・高浜信行・鈴木幸治・村尾治祐・渡辺史郎・稲崎富士 (2000) : 新潟平野西縁部, 角田・弥彦断層群における浅層反射法地震探査, 新潟応用地質研究会誌, No. 54, 33-37.
- 山岸俊男 (1998) : 新潟平野・海岸の土砂収支の一例, 新潟応用地質研究会誌, No. 50, 13-28.
- 山本 肇 (1995) : 越後平野における弥生時代～中世の遺跡の立地とその変遷, 日本第四紀学会講演要旨集, No. 25, 24-25.
- 山本 肇 (1996) : 越後平野における弥生時代～中世の遺跡の立地とその変遷, 第四紀研究, Vol. 35, No. 3, 229-234.
- 安井 賢・鴨井幸彦・小林巖雄 (1999) : 越後平野西縁部における完新統上部の珪藻遺骸群集, 日本地質学会第106年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 28.
- 安井 賢・鴨井幸彦・大谷政敬・関谷一義・今野和則・小林巖雄 (1998) : 越後平野“沖積層”の層序・堆積環境と粘性土層の工学的性質, 理学・工学情報が臨海平野の地盤解釈に果たす役割に関するシンポジウム発表論文集, (社)地盤工学会中部支部・濃尾地盤研究委員会・中部地質調査業協会・応用地質学会, 93-98.
- YASUI, S. and KOBAYASHI, I. (2001, in press) : Holocene diatom flora of the Shiotsugata Lagoon in the Echigo Plain, central Japan, *Science Reports of Niigata University, Series E (Geology)*, No. 16.
- 安井 賢・小林巖雄・鴨井幸彦・渡辺其久男・石井久夫 (2001, 印刷中) : 越後平野中央部白根地域における完新世の環境変遷, 第四紀研究, Vol. 40.
- 安井 賢・大西貴文・鴨井幸彦・小林巖雄 (2000) : 越後平野北部古塩津潟における完新世汽水湖堆積物の特徴, 日本第四紀学会講演要旨集, No. 30, 98-99.
- 安井 賢・渡辺其久男・鴨井幸彦・小林巖雄 (1998) : 越後平野中央部, 白根地域における“沖積層”の汽水動物化石群集, 日本地質学会第105年学術大会講演要旨, 日本地質学会, 33.
- YASUI, S., WATANABE, K., KAMOI, Y. and KOBAYASHI, I. (2000) : Holocene foraminiferal fauna and sedimentary environment in the Shirone area, Echigo Plain, central Japan, *Science Reports of Niigata University, Series E (Geology)*, No. 15, 67-89.
- 横尾義貫 (1976) : 新潟震害の歴史的背景(17世紀以降の新潟付近の地形形成史), 京都大学防災研究所年報, No. 19B, 91-104.
- 寄藤 昂・大矢雅彦 (1988) : 荒川と胎内川における扇状地発達の相違について, 東北地理, Vol. 40, No. 2, 79-94.
- 吉越正勝・野尻湖発掘調査団・斉藤 豊・酒井潤一・ハヶ岳団体研究グループ (1983) : フォッサ・マグナ地域, 第四紀(第四紀総合研究会連絡誌), No. 23, 15-16.